



東海の名瀑 宇磁滝(藤枝市)

目次

御挨拶	P2	技術委員会を開催	P6
環境部全国緑樹標推進室長 関沢 基		支部だより	P6~7
第十九回通常総会開催	P3~4	東部支部	富士急建設(株)静岡支店の河合英貴氏が建設大賞顕彰
静岡県造園施工管理技士会	P4	中部支部	大井川マラソンコースの記念植樹に移植ゴ子難呈
第十三回通常総会開催		西部支部	盛り上げよう国際園芸博
新メンバーによる理事会開催	P5	空港のり面試験植栽経過順調	P7
経務企画委員会を開催		話題の森・お知らせ・編集後記	P8
啓蒙労働委員会を開催	P6		

御挨拶



環境部 全国植樹祭推進室長

関沢 意

貴会員の皆様には、日頃より、全国植樹祭の推進に多大なご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、県では平成十一年の五月(予定)に天城湯ヶ島町を舞台に開催される全国植樹祭について、第五〇回という節目の大会にふさわしく、意義深い植樹祭とするため、昨年十二月、貴会会長をはじめ、県内の各界で広く活躍されている方々と構成する「第五〇回全国植樹祭静岡実行委員会」を設置し、「基本計画」を策定していただいたところで、

策定された計画(概要)は、本

年二月、共催者である国土緑化推進機構の特別委員会で承認され、正式に決定されました。

以下、その概要について、ご紹介をさせていただきます。

「荒れた国土に緑の晴着を」を合い言葉に、荒廃した国土の復旧を主目的とした全国植樹祭も、回を重ねるにつれ、地球の環境保全との関わりや自然と人間の共生の必要性を含め、森林・緑に対して国民の関心をより深め、森林づくりに参加を求める方向へと変化してきております。

こうしたことから、来年開催される植樹祭を中心に、継続的に長い期間、県民が気軽に参加できる「I love a Tree キャンペーン」を展開し、県民参加の森づくりを進めていききたいと考えております。

また、植樹行事と式典行事とを切り離すという、植樹祭では初めての試みとなる、二会場方式を採用することになりました。これは、木を植えることを一義的に考えるときにも、既存施設を活用し、仮設設備の軽減を図りたいなどの考えによるものです。

以上の二点が、基本計画の大きな特徴となっております。開催のテーマ

全国から七千余点の応募があり、この中から「未来のあなたへ、緑の風 おくります」が選定されました。森のテーマは、みんなの力で森をつくり、育て、こうした森づくりの輪が国内外に広がって、緑に包まれ

た美しい地球が未来へ継承されることを願う意味が込められています。

会場及び参加者

●森づくり会場：四千五百人

●式典会場：……七千五百人

式典に参加する参加者は、森づくり会場で記念植樹をしていただいた後、式典に参加していただきます。

植樹及び播種

●植樹

ヒメシヤラ、ヤマボウシ、ブナなど二千五百

西天城高原周辺に生育する広葉樹を植えていただきます。植樹地は、「あまぎの森」として、県民参加で下刈りなど手入れを行うとともに、これを核として、自然植生の拡大、人工林と自然植生種との複層林など多様な森林種を育て、二十一世紀へ継承します。

●播種

クヌギ、コナラ

以上が基本計画の概要です。植樹祭の開催まで、残り一年を切る状況となっておりますが、大会の成功、森づくり運動の推進には、緑化のプロである会員の皆様をはじめ、多くの県民のご協力が必要不可欠であります。

是非とも、全国植樹祭の準備や「I love a Tree キャンペーン」に積極的にご参画いただきますようお願い申し上げますとともに、貴会員のますますのご発展をお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



第十九回

通常総会開催

平成十年度の通常総会を四月二十八日(火)午前
十時三〇分、静岡市日興会館に於て、吉岡敬郎
県環境部長、相談役の栗原裕康衆議院議員、顧問の
森竹治郎県議会議員をはじめ、県、公社、関係団体
等多数の来賓の臨席を得て、盛大に開催した。本年
は役員改選期に当たり、六月十二日にわたって活
躍の福勝哲夫会長の引退のあと西野勢作新会長を選
任した。このほか十年度の事業計画・予算など四議
案が承認され西野体制のスタートをきった。



西野新会長

総会は、後藤公一総務企画委
員長の司会で進められ、鈴木栄
治副会長の開会のあと、福勝会

長が厳しい造園建設業界のな
か、大型イベント、プロジェクト
の目白押しの本県の有利性を

生かそうとあい
さす。

続いて第七回
緑地維持管理コ
ンクール等の表

彰(別掲)を行い、
吉岡敬郎環境部
長、栗原衆議院
議員、森竹治郎
県議会議員の祝
辞のあと、福勝

会長を議長に選任し議事に入
った。

本年は二年に一度の役員改
選期にあたり、福勝会長引退
のあと、各支店から推薦を受け
てきた理事候補を総会で承認
した後、理事による互選の
結果、新会長には(株)西野造
園 代表取締役 西野勢作
(中部)、副会長に(株)大松園
代表取締役 渡井公平(東部)、
天野園芸(株)代表取締役 望
月敦彦(中部)、ユニテ造園建
設(株)代表取締役 山内敏男
(西部)の三人が選任された。

役員人事の案件のほか、平
成九年度事業・決算報告等も
全議案が原案どおり承認され
た。

西野新会長は、会長職の重
さを認識し、全力で取り組む
決意である。県の大形事業は
あるが、見直しはあまいもので
はない。協調と閉結が必要で、
会員の力を一つにしていこう
とあいさす。

最後に、福勝前会長に感謝
状と記念品が贈られ、緑の重
要性が再認識され、大型事業
が展開されている現在、会員

が一致団結して仕事に
まい進してほしい」との
お礼の言葉と要望のあ
と新理事、新入会員の
紹介を行って閉会した。

受賞者の紹介

◆第七回緑地維持管理
コンクール
〔票知事賞〕
掛踏町総合運動公園
(会長賞)
富士市立須津中学校
富士町および湯の館
静岡英和女学院短期大学
島田市立博物館
浜松市立北小学校

◆協会長表彰
(株)東豆開発

正翠園 木村正明
静岡観葉 小林英男
(有)庭脚 鈴木栄治
(会員の従業員)
(有)岩本造園 小塚住男
河合不動産(株)中村陽太郎

新役員紹介

◆会長 西野勢作(株)西野造
園 静岡市 ◆副会長 渡井
公平(株)大松園 富士市 同



花束の贈呈を受ける福勝前会長

望月敦彦(天野園芸(株) 富
土川町) 同 山内敏男(ユ
ニテ造園建設(株) 浜松市)
◆理事 土屋良明(株)土屋造
園土木 下田市) 立木泰
(株)植源 伊東市) 後藤公
一(富士建設(株)静岡支店
沼津市)植松壽彦(株)植松造
園建設 沼津市) 木下兵太郎
(木下造園(株) 清水市) 小
林登(株)小林土木緑化 静岡
市)村田昌弘(有)富士昌造園



新役員の前ぶれ

焼津市) 田旗康二(田旗造園建設(株) 掛川市) 片桐利男(株) 片桐造園建設(株) 袋井市) 鈴木寛(ナイセイ緑地(株) 浜松市) 山崎勲(株) 花ふく(株) 事務理事 川崎順二(員外) ◆監事 川口政人(株) 伊豆夢茂 大仁町) 大石春夫(有) 大石造園 藤枝市)

新入会員の紹介

理事会で承認され、四月二十

八日の総会の席で紹介された新入会員のメンバーです。富士緑化(株) 静岡支店(三島市)(株) 共立(富士川町)

静岡県造園施工管理技士会 第十三回通常総会開催



乗松会長

静岡
演題「造園デザイン」
県内の造園施工管理技士で構成する県造園施工管理技士会(乗松文男会長、会員二九名)の通常総会を六月二十六日、静岡駅前の東海軒会館で開いた。

最初にあいさつに立った乗松会長は「技術力や技能の評価が重視される時代となった現在、

(有)丸福造園土木(由比町)
(有)松月園(森町)

我々もますます施工管理技術の向上や優秀な技術者の育成に努めなくてはならない。真の技術者として存在感を示し、社会に貢献できる技術士を目指そう」と呼びかけた。
議事では、九年度事業・取支決算報告をはじめ十年度の事業計画・取支予算案などが原案どおり承認された。本年度の事業計画では、会報の発行や緑化技術者としての資質の向上を図るため研修会や講習会、具体的には造園施工管理技士資格試験の受験対策講習会、近年の自然復元技術修得のためのビオトープ講座の開催等を行うことになる。
続いて、来賓の奥田頼春県ゆめ未来局長が「県では、二〇



来賓あいさつの奥田ゆめ未来局長

一過性のものとしなため、開催地の利用問題等を話され、会員の今後の協力をいただきたい旨のあいさつがあった。
最後の講演会では、ランドアート代表取締役の榎原八朗氏が「造園デザイン」について語り、出席者六十名は熱心に耳を傾け、近年にない盛況の内に総会を終了した。

〇四年の国際園芸博覧会までの間に、諸々のイベントを通し世界に発信していく計画ですが、緑化にかかわる事業が多く、皆さんには今後とも協力いただきたいと最近のガーデニングブームを初めとする園芸事情をまぜながらあいさつをいただいた。
また、狩野義之公園緑地課長は真近にせまった「しずおか緑・花・祭」の取り組みやこれを



講演に聞き入る会員

新メンバーによる理事会開催

四月二十八日の総会で承認された新メンバーだけの初めての理事会を六月三日、日興会館において開催し、最終的な顧問、委員会構成等が決定した。

西野勢作新会長が、新聞への談合疑惑密告問題にふれ「苦況だからお互い仕事を欲し、かといってたまたまいや談合、密告をやつていれば業界は信頼されず、発展はない、苦況だからこそ團結して、こう」とあいさつ。そのあと議事に入り、協会顧問、各委員会委員の決定、造園施工管理技士会が行う「造園施工管理技術検定試験の受験対策講習会」、県の大型イベントを盛り上げるコミュニティ緑化推進事業等について協議した。協会の顧問については、今まで委託期間が明確でなかったため今期から、現理事が推せんすることであるから理事と同じ二年の任期で委託することに決定した。

が発言の機会、協会の運営に係られるような考えで委員を兼任して欲しい旨の役員会決議にも係らず、ほとんどが重複していたことから、異論があったが、今回は支部の事情ということで了解された。その他、六月中を目途に各支部ごとに他、各市町村等への要望を行うことを決定。

- 向う二年間お願いした顧問の先方は次のとおり、敬称略)
- 東部支部
森 竹治郎(下田市・賀茂郡)
●水口俊太郎(田方郡) ●鈴木尚(富士市)
 - 中部支部
前沢 佑(清水市) ●佐野康輔(静岡市) ●菅根恵津広(藤枝市) ●志太郎)
 - 西部支部
奥之山 隆(浜井市・周智郡) ●浜井卓男(浜松市)

- 各委員会委員
各支部から推進された委員は次のとおりで、総務企画委員会が報告し承されました。今後の活躍が期待されます。
- 委員長 ●副委員長
 - 総務企画委員会
立木泰 後藤公一 大森滋雄(有) 翠光園 富士市) 木下兵太郎 小林登 村田昌弘
 - 片桐利男 瀧美仁(二郎) ●林庭仁 磐田市 江間部乃(株) 江間稲苗園 浜松市)
 - 啓蒙労働委員会
西村義夫(西村造園(株)熱海市) 坂本大輔(静岡園(株)沼津市) 望月淳男(宋州緑化(株)富士支店 富士市) 杉山守(株)杉山造園 清水市) 小林善男(静岡観葉(株) 静岡市) ●津島進(株)葉梨グリーン園 掛川市) 三室園 掛川市)
 - 乗松文男(株) キャップ 浜松市) 大村幸康 住友造園園発(株) 浜松市)
 - 技術委員会
工藤友一(株) 広野園 伊東市) 木村正昭(正東園 長泉町) 植松壽彦(株) 植松造園 建設 沼津市) ●小林百二(有) 小林造園 富士宮市)

六月十三日、静岡市日興会館において、新メンバーによる初めての総務企画委員会を開催し、委員長に西部支部の瀧美仁(二郎)氏(株)庭仁代表取締役、副委員長に東部支部部長立木泰氏(株)植源代表取締役)を選出し議題を協議した。平成十年度の事業計画の内、県のイベント支援のためのコミュニティ緑化のあり方について色々意見が出され、来年五月開催の第五〇回全国植樹祭については、本年の群馬県で開催された全国植樹祭のように沿道地元住民と一緒に花を飾ってはどうか。

二〇〇一年の静岡緑・花祭は、六月二十日開催のフォーラム開催会場周辺の飾りつけについて地元へ要請があったが時間的に対応不可ということで来春の花の季節へ向けて県や地元と相談することになった。一方、園芸博覧会に対しても、春のプランニングによる街並緑化が好評で、第二弾は休耕田を利用したランドマークをと構想をねっていたが、休耕田があまりに荒廃していたのでその復旧に時間と経費を要するということでも秋に向けての取り組みは断念し、再度検討して来春へ向けて取り組むこととなった。

その他、造園施工管理技士受験対策講習会、しずおか緑・花祭フォーラムへの参加、まちづくり講演会聴講、会費の見直しの件等が議題に上り、東部支部では会費を見直すことと委員は思っているとの発言があった。それに対し、常に会費を念頭に置いて委員会を開いているという事で理事会は決定したはずと回答があった。いずれにしても、協会は公益法人であり、会員の会費でもって成り立っているのだから、公益法人としての運営の両者を念頭に置いて活動しなければならぬのは当然である。

啓蒙労働委員会を開催

総務企画委員会に続いて、六月十四日、新メンバーによる啓蒙労働委員会を開催し、委員長には前期に引き続いて西部支部選出の乗松文男氏(株)キヤップ代表取締役を委員長に、副委員長に中部支部選出の津取祐氏(株)葉菜グリーン代表

を委員長に選出して議題を討議した。

この委員会は、委員長、副委員長を除いて全員が入れ替るという委員構成となった。

そのため本委員会の協議事項である衛生基金の利用方法、労働安全衛生教育、会報発行、安全パトロール、オリジナルカレンダー作成のこともどよりも協会の役員選出、協会の運営等に活動が進展し、協会の諸々の活動が支度を通じて、会員への周知が温度差があり、会員の誤解を生んでいたということが理解され、初会合で、実のある有意義なものとなった。

その他、公共事業における現在の賃金より低い造園工が普通作業員より低い造園現象はどうしても解消してもらわなければ、何のため技術や技能の資格をとっているのかわからな

い、会員の実態調査を行って関係機関へ要望することに決定。

また、来年、中国雲南省で開催される世界園芸博覧会の視察研修を行おうということも決定した。

技術委員会を開催

啓蒙労働委員会に続いて新メンバーによる初めての委員会を六月十九日に日興会館で開催した。ほとんどのメンバーが交替したなか、前期に引き続き委員として活躍することになった東部支部の小林百二氏(有)小林造園 代表取締役を委員長に、同じく中部支部の飯田正徳氏(飯田庭園設計事務所 代表)を副委員長に選任し、議題の協議を行った。

議題は三つの委員会のなかでは実務的な作業が多く、委員は今後、暑い夏が続くことになり、体に留意して協会、業界のため活躍をいただきたい。

まず、造園施工地の土壌調査は東部で六件、中部四件、西部六件あり早いものは八月末には分析結果を出さなければならぬ。大半が初めてのメンバーなので土壌調査から勉強していただくことになる。

次は緑地管理マニュアルの作成で、これは自然保護課からの委託事業で九月末日までには原稿執筆完了が求められる。十二名がそれぞれ分付する。

静岡空港自然環境保全の委託調査は、貴重種の移植や種子採取、試験植栽、育苗等では事務局から招集に応じて現場作業をやることで「安心というところ」。

難題は「シニアワークプログラム」の実施で、これは商工労働部関係の委託事業で、六十才の停年を迎えた人で造園業に従事したい人を養成する業務である。

会場は熱海市(九月、浜北市(十月)、掛川市(十一月)、沼津市(十二月)の予定で、一会場場の定員は〇名、内容は、関係法令、造園材料、植栽の理論と実践、造園管理等と講義と実習で一会場十日間というハードなもの。この講座については協会会員の新しく採用した従業員も参加するとよいのではないかと思われる。

この講座についても具体的な日程、誰がどの内容を担当するか、実習の場所はどこにするかなどこれらが大至急詰めなければならぬ問題はかりである。

支部だより

東部支部

富士急建設(株)静岡支店の河合英俊氏が
建設大臣顕彰・おめでとうございます



記念祝賀会場の河合氏

に勤務されたこともあるが、再び富士急建設に勤務され、現在は静岡支店営業部次長兼造園部次長として活躍されている。今までの造園建設業一筋の功績が認められたもので協会にとつても誠に名誉なことである。

この顕彰基準は厳しく、年齢制限があるうえ、現場に従事し、技術、技能が優秀で技術開発、施工の合理化、後進の指導・育成に努めるなど、後の建設現場従事者の模範である者などとなっている。

河合氏は、もちろんこの基準をクリアされたわけだが、県内では他の建設部門が三人で合計四名しかないという栄誉に浴されたのです。今後は我々の造園建設業発展のため御尽力をお願いしたいと思います。

三月に富士急建設株式会社に入社、その後一時期、別の会社

中部支部

大井川マラソンコースの 記念植樹に移植ゴテ贈呈

(社)藤枝青年会議所が四月例会事業として、大井川マラソンコースの東名高速道路南側付近で会員とその家族約一五〇人が参加して、マラソンコースの植樹帯に三五〇本のトバラを移植した。

植樹にあたって協会から大石春夫中部支部役員が出席して、一家庭あたり一丁の移植ごて



記念植樹に励む親子

の寄贈を行った。参加した家族は、環境問題、緑の大切さを学び、協会から贈られた移植ゴテを使って親子で楽しく植栽をしていた。植栽完了後は全員で河川敷のゴミを拾い集め予定の作業を終了した。

西部支部

盛り上げよう 国際園芸博

二〇〇四年に浜松市庄内地区で開催される「しずおか国際園芸博覧会パシフィックフロラ2004」を盛り上げるため、浜松市と連携のもと第一弾として、去る四月に浜松市中沢町の中沢町公民館などにプラントナー六十六基と土、培養土を贈り、市から配布されたペゴニアやガザニアなどを地元元苗の会と二誌に植付けた。

プラントナーは簡単に運ばれないような重厚なもので、側面に寄贈者の協会名と博覧会のプレートが張られ、やよもするてし管理者がつきりせず荒れしてしまうことから管理者名もきちんと記されている。

プラントナーは中沢公民館のほか、船越公民館、市消防署等に



きれいに咲いたペゴニア

設置され、四月二十五日には西部支部会員も出て、地元自治会、花の会会員の皆さんと一緒にポット苗の植栽を行った。

植栽後二ヶ月、すっかり根付き、ペゴニア、ガザニアが次々咲き競い、街行く人の目を惹きつけている。

本部だより

空港のり面試験植栽 経過順調

本年三月十三日、技術委員と地元会員十七名の参加を得て植栽を行った空港予定地の試験地は、その後の生育も順調で試験区ごとの成績も差が生

じておもしろい。

試験地は、道路のり面五〇〇平方メートルを使つて、ヤマモモ、アスカシ、クス、タブ等の常緑樹主体と、コナラ、クリ、アカメガシワ、ヌルデ、ヤマザクラ等の落葉樹主体の二つのパターンを、麻マツト使用、不使用、全面敷設、

不使用、全面敷設、不使用等の組合せ、二〇とうりの試験植栽を行った。これから生長量等具体的な追求調査を実施するが外観上次のような点が判明。

一、円形麻マツト施用、不施用では活着率、生育の差より土壌表面の浸蝕の影響が大きい。
二、ピースワイルは吸湿性が肥効性は定かでないが写真に見るとおりクローバーの生育に格段の差がある。緑の濃い部分は施用、薄い部分是不施用(発芽はしているが生長していない)。
三、活着率は全体で九十五%、三活ではヤマモガシが七十五%、コナラ、カキノキ、ヤマザクラの八十五%が悪い方であった。
四、ヌルデ、アカメガシワ等の先駆植物の生育が良好。
五、経費はこれから積算していくが、おもしろい結果が期待される。



試験植栽地

会場の吉田町でフォーラム

「志太榛原全体の催しに」

まず地元盛り上げ

2001年しずおか緑・花・祭



2001年しずおか緑・花・祭に向けて地元佳民に理解を、と開かれたフォーラム。吉田学園ホール

三年後に吉田町川尻の吉田公園予定地で開かれる「二〇〇一年しずおか緑・花・祭」に向けて地元理解を深めてもらおうと、県や吉田町などが二十日、同町学園ホールで二〇〇一年しずおか緑・花・祭フォーラムを開いた。町民約四百五十人が参加し、基調講演にパネリストが通じて緑・花・祭の趣旨説明やイベントへの提案などに盛り込んだ。

基調講演では都市緑化アドバイザーの大川清静大慶学部教授、エア企画社代表取締役の藤原千恵花の公益学会副会長、ゆめ未来アドバイザーの眞田和氏が講師を務めた。米谷和氏が講師を務めた。

「緑と花のあふれる暮らし」と題し、市内の各団体の代表者が、国内の事例や海外の花のイベントを紹介し、パネリストは内田二堂が地域活性化の核となる、

遠藤副会長は「花の会の組織を動員してぜひ見たい。口も手も人から入るといい」と語った。

また大教授は「志太榛原地蔵堂で行うイベントに、来場者は花生産の現場を見てもいい、花と緑を愛する幅広い人々の拠点にしたい」と提言した。

芝さんも「町内に住む高齢者や子どもたちに配慮したアクティビティを考案してほしい」と要望した。

緑・花・祭はかがやきをテーマに、平成十三年四月二十日から五月十七日まで吉田町の大井川河口周辺で開催される予定。文面は平成十年六月二十日静岡新聞

このフォーラムに、中部支部の会員の大部分参加がありました。

来年は中国、雲南省で国際園芸博覧会が開催されます。二〇〇四年の静岡国際園芸博覧会の研究のため、現在、旅行社と視察計画を練っております。日程は四月五日で、総費は二十五万円前後が想定されます。多数参加できるよう今から準備いたします。

編集後記

梅雨入りが例年より早かったと思っていれば梅雨明けも早いのか、静岡地方は七月下旬というのに三十六度の猛暑続き、やはり地球温暖化の影響なのだろうか。

早いもので、つい先日春号を発行し、総会を終えたと思っていながらも夏号の発行、そしてお盆です。夏号、会員からの投稿を待つておりましたが、発行期限がせまりましたので事務局で主に、総会、委員会等の情報を掲載しました。第二四半期からは支部活動も活発になると思います。次は秋号で十月一日発行の予定です。投稿をお待ちしております。



お知らせ